

令和6年度 特別支援学校うぐいすの杜学園 校務分掌業務の実施状況

1 教務部

(1) 教務担当

①企画立案

○教育課程

- ・年間行事予定、月行事予定、日課表の立案及び調整

年間授業日数 199日

- ・学校教育計画の立案及び評価

○主な行事等

実施日	行事名	備考
令和6年 4月 8日 (月)	1学期始業式・新任式	新任 5名
令和6年 7月22日 (月)	1学期終業式	
令和6年 8月29日 (木)	2学期始業式	
令和6年11月 1日 (金)	第4回うぐいす祭	
令和6年12月17日 (火)	芸術鑑賞会	山梨県芸術文化協会「指導者派遣事業」 講師：福島孝顕 氏
令和6年12月20日 (金)	2学期終業式	
令和7年 1月 9日 (木)	3学期始業式	
令和7年 3月11日 (火)	中学部第4回卒業証書授与式	中学部卒業生 2名
令和7年 3月18日 (火)	小学部第4回卒業証書授与式	小学部卒業生 1名
令和7年 3月25日 (火)	修了式・離任式	離任 6名
○授業公開及び懇談		
・各学期1回(計3回) 子どものころサポートプラザ内職員が参観		
・公開期間 1、3学期 各2日間 2学期 1日(学園祭)		
・懇談 子ども心理治療センター担当者、児童相談所ケースワーカー、保護者が参加		
※2学期は、担当連絡会とし、児童相談所ケースワーカー、子ども心理治療センター担当者、担任、学部主事が参加し、学校から学習状況等を伝える場とした。		

○担当委員会

- ・教育課程委員会・・・次年度の教育課程編成について検討
- ・規程検討委員会・・・内容について見直し、改訂版を作成
- ・修学旅行委員会・・・今年度及び次年度修学旅行について検討
- ・主事会・・・各学部の状況についての共有や学部間の調整等

②庶務

○学校要覧作成・・・200部

○成績・評価・・・成績及び修了認定会議(各学期末)

○個別的教育支援計画・・・学部を中心に個々の支援について検討した。ケース会議等で、関係機関と支援について検討する際のツールとして活用した。

○個別の指導計画・・・自立活動の個別の指導計画については、国立特別支援教育総合研究所病弱班から提案された「Co-MaMe」を活用した。

○諸帳簿の管理

名 称	保存期間	名 称	保存期間
学校沿革史	永年	指導要録(学籍)	20年

教務日誌	5年	指導要録(指導)	5年
日直日誌	5年	出席簿	5年
教職員名簿	5年	卒業生台帳	永年

○調査・統計・・・「学校基本調査」「特別支援学校在籍者に係る調査」「教育課程の実施状況調査」「授業実施状況に関する調査」 他

③実習等

○教育実習・介護等体験・・・令和6年度の受け入れは無し

(2) 進路指導担当

①キャリア教育

- ・キャリア教育の充実～教科領域の学習において、キャリア教育計画をもとに指導を深める。
- ・キャリアパスポートの作成に取り組み、児童生徒が自分自身について考える機会としていく。

②進路指導

○高等学校等、進路先の情報収集

進路先として考えられる高等学校等について、オープンスクールへの参加や担当者との連絡等を通して、具体的な資料を収集してまとめる。

○甲府市中学校進路指導連絡協議会への参加

サマーテスト（8月）、校長会テスト（10月、1月）

○進学先校との連携

- ・定期的に電話で様子を共有し、支援について連携を行った。
- ・進学先 中学部卒業生：県内私立高校、県内県立特別支援学校
小学部卒業生：本校中学部、地域中学校

③中学部職場体験学習

○職場体験学習（5月） 2日間

オギノ伊勢店での体験学習

○職場体験学習の受け入れ先等に関する情報収集

(3) 図書担当

①図書

○教科書事務・・・令和6年度教科用図書受領確認 令和7年度教科用図書採択

転入学児童生徒用教科用図書採択 指導書購入及び管理 副教材の選定

○図書・・・図書室蔵書 職員用図書の管理 寄贈図書の整理

○教科用図書校内検討委員会・・・令和7年度教科用図書について選定

○図書選定委員会・・・児童生徒用図書の選定

(4) 研修・研究担当

①校内研究

○研究主題

「複数の子どもを対象としたキーパーソン及びチーム支援の在り方～持続可能な校内体制～」

○研究目的

(1) 同学年に子どもが複数いる際のキーパーソンとチーム支援の在り方を探る。

～同学年に子どもが複数いる際の、キーパーソンとチーム支援の在り方の基本ベースがあると、年度途中で子どもが増えた時にも対応しやすくなるのではないかと～

(2) 教職員のメンタルヘルスについて学び合う。

～それぞれが工夫しているメンタルヘルスの取り組みを共有することで、年間を通して教職員の精神的健康が保てるのではないかと～

○研究内容・方法及び経過

(1) 理論研究・研修

- ①文献による理論研究を通して専門的な捉え方や支援方法を学び、実践に活かす。
- ②本校主催の研修会や子どものころサポートプラザ主催の学習会で学び合う。
- ③関係各機関が主催する研修会や学習会へ参加し、専門性を高める。

(2) 実践研究

- ①小学部及び中学部のグループ研究において、各学部の校内支援体制の現状の工夫と課題、課題に対する対策について検討する。
- ②グループ研究により確認されたことを学校全体で共有する。各学部の特徴と工夫、必要な支援について、全教師で共通確認する。

○実践研究・事例研究経過 年間11回

- ・全体研究 6回・・・本年度の研究の方向性、米澤好史先生（和歌山大学）招聘研修会
本年度の研究のまとめ及び次年度の方向性
- ・学部研究 5回・・・事例研究（児童生徒のアセスメント、課題と支援の整理 等）

○研修方法及び経過

- ・本校が主催する研修会や学習会を開催する。
- ・校外の関係各機関が主催する研修会や学習会へ参加し、情報を共有する。
- ・研修会やこれまでの校内研究から専門的な捉え方や支援方法を学び、実践に活かしていく。

<本校主催>

日 付	内 容	講 師	主催
4月 2日 (火)	校内研修会 「うぐいすの杜学園の教育の基本」	本校教諭 菊池 恵	本校
5月14日 (火)	校内研修会 「感覚統合療法について①」	本校教頭 寺西 修	本校
5月28日 (火)	校内研修会 「感覚統合療法について②」	本校教頭 寺西 修	本校
6月 6日 (木)	山梨県子どものころサポートプラザ 内研修会 「子どもの心を育む～子どもの多様性を理解して支援する～」	子どものころサポートプラザ センター長 相原 正男 氏	外部
6月25日 (火)	校内研修会 「教職員のメンタルヘルスについて」	こども心理治療センターうぐいすの杜 所長 上村 拓治 氏	本校
7月23日 (火)	校内研修会 「対人支援職で大切なこと～アタッチメントとその障害を中心に～」	子どものころサポートプラザ センター長 相原 正男 氏	本校
8月27日 (火)	校内研修会 「不登校の子ども理解と支援」	山梨県総合教育センター 指導主事 小野 圭 氏	本校
1月 9日 (木)	校内研修会 「令和6年度うぐいすの杜学園研究について」	和歌山大学教育学部 教授 米澤 好史 氏	本校

②研究のまとめ

- ・研究のまとめについては、「令和6年度研究紀要」に掲載

(5) 情報・ICT 教育担当

①情報・視聴覚機器の管理

○情報視聴覚機器の保守管理及びネットワーク管理

○学校ホームページによる情報発信

授業や行事の様子、学校としての取り組みについて情報発信を行う。

○情報教育

・一人1台端末(iPad)の管理及びシステム更新

・全国学力・学習状況調査実施及び山梨県学力把握調査に向けた準備

・ICT教育推進研修会<教員対象>(11月):一人1実践報告(県教育委員会指導主事招聘事業)

②教材教具の管理

・教材備品等の確認用台帳の作成

・学期末の確認整理の計画及び実施

・毎月の物品購入のとりまとめ

(6) 渉外交流担当

①交流及び共同学習

○地域清掃～学校周辺及び山梨県子どものこころサポートプラザ内の清掃活動

・プラザ内の草とり 年間5回(6月、9月、10月、1月、2月)

・花いっぱい運動(チューリップの球根植え) 年間1回(11月)

○作品交流～甲府伊勢四郵便局への作品展示

6月 小学部作品

8月 中学部写真部作品

10月 小学部作品

12月 中学部作品

○地域だより 年間3回発行(5月、7月、1月)

地域自治会を通じて各戸(約230戸)に配布

2 安全指導部

(1) 生徒指導担当

①生活指導・いじめ防止対策

○生活指導

・生徒指導上の課題への対応

・学校のやくそく(小学部)／学校生活のルール(中学部)の再検討及び指導

○緊急時の対応

・保護対策の確認

○いじめ防止対策

・いじめ防止基本方針の見直し

・いじめに関するアンケートの実施と対応策の検討(年3回実施)

②第4回うぐいす祭の実施 11月 1日(金)

○目的

日頃の学習活動を発表することで「自分がこの学校で学んでいる」という所属感を味わえる機会にする。そしてみんなの発表を肯定的に観ることでお互いを認め合い、連帯感を育むきっかけにする。

○内容

学習発表（模擬店形式 作品展示）

（２）保健・給食担当

①保健衛生

○学習環境の整備

- ・水質検査（毎日 養護教諭が実施）
- ・換気及び保湿等検査（年間２回 学校薬剤師が実施）
- ・採光及び照明検査（年間２回 学校薬剤師が実施）
- ・騒音検査（年間２回 学校薬剤師が実施）
- ・感染症対策のための消毒（共用部分を中心に毎日 日直が実施）

②給食

○給食委員会の活動 学期１回

「おたのしみ給食」：児童、担任、栄養士で計画

○関係委員会

- ・学校給食委員会：給食に関する運営と指導についての企画及び立案 学期１回
- ・給食運営委員会への参加 毎月１回

③保健管理

○児童生徒に関すること

- ・健康診断（内科検診、眼科検診、歯科検診、耳鼻科検診、視力聴力検査）
- ・健康観察（毎日実施）
- ・精神科校医への相談～教員が児童生徒に関することを相談（年２回実施）

○緊急時対応

- ・救命救急法講習会（５月） 講師：甲府市消防本部救命救急指導員 ４名
- ・緊急時シミュレーション訓練（７月）

○アレルギー疾患対応

アレルギー疾患対応委員会

○安全衛生委員会（２月）

職員の健康の保持増進、安全、衛生に関する事項の調査及び審議を行う。

参加者：校長、事務長、教頭、保健主事、養護教諭、衛生管理医、職場団体推薦者

○学校保健委員会（２月）

学校環境衛生の整備及び学校保健に関する調査などを行う。

参加者：校長、事務長、教頭、学部主事、保健主事、養護教諭、学校医（内科医）

（３）環境防災担当

①環境整備

○環境美化

職員清掃 毎週金曜日

②安全管理

○安全点検

担当場所について項目に沿って点検（隔月で実施）

○防災関係

- ・防災計画、危機管理マニュアルの作成・見直し
- ・避難訓練の実施
シェイクアウト訓練 年間３回（６月、１１月、２月）

引き渡し訓練 5月 想定：水害

※災害が起こった場合、児童生徒は、子ども心理治療センターうぐいすの杜に引き渡す。その際の連絡の仕方、引き渡し方について実際にうぐいすの杜職員に協力いただいて実施した。

避難訓練 年間2回（9月、11月） 想定：地震・火災

防災研修（職員対象） 4月 災害時の対応、役割の確認

・非常食の管理

・甲府市伊勢地区一時避難所運営に関する協議（「災害時等における山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園の一時避難所としての利用に関する協定書」令和5年3月 甲府市と締結）

3 相談支援部

（1）相談支援担当

①センター的役割

○教育相談（転入学相談及び学校見学を含む）・電話相談

（のべ件数）

	保 護 者				幼保学校及び関係諸機関				
	幼児	小学生	中学生	高校生	幼保	小学校	中学校	高校	その他
教育相談	0	2	4	0	0	1	1	0	8
電話相談	1	1	1	0	0	5	5	0	13

○授業体験

転入学予定児童生徒に対して転学日までの期間に実施（小学生4名、中学生2名）

○追支援

転出児童生徒及び卒業生徒の支援（高校生6名、中学生4名、小学生2名）

○訪問支援

センター的機能の発揮に係る指定地域の学校から依頼（小学校3校、中学校2校）

※指定地域：甲府市・笛吹市・甲州市・山梨市・甲斐市・中央市・昭和町

○センター的機能対象地域本校学習会

・子どものころサポートプラザ 相原センター長による講演

・本校の概要説明及び教育実践の紹介 等

②関係団体・機関との連絡調整

○市町村関係

要保護児童対策地域協議会個別ケース会議	1回
---------------------	----

○市町村教育委員会・学校関係

転入学児童生徒に係る当該教育委員会及び前籍校との連携	2校
転出児童生徒に係る当該教育委員会及び小中学校との連携	1市1校
中央市立田富北小学校	研修支援実施
中巨摩教育研究会	研修支援実施

○総合教育センター・県教育委員会関係

病弱専門部特別支援連携会議 （全体会・心身症等部会・慢性疾患等部会・連携推進部会）	4回
特別支援教育コーディネーター会議・資質向上研修	10回
特別支援教育コーディネーター研修会議	2回
高等学校教育研究会教育相談部会	2回
新特別支援学級担当者研修会	1回
教育支援アドバイザー	2回

○プラザ内関係

子どものころサポートプラザ連携推進会議	5回
子どものころサポートプラザ連携チーム会議	4回
子どものころサポートプラザ事業概要編集会議	3回
プラザ内機関連携同支援	5回
プラザ内学校説明会	3回
子ども心理治療センターうぐいすの杜への入所・通所検討会議	5回
申し送り（朝・昼）	平日毎日参加

4 学部担当

①授業計画・評価

準ずる教育課程で日課を作成している。一人ひとりの実態に合わせて個別の指導計画を作成し、評価
規準や内容を設定して授業を行い、評価している。

②主な学部行事

○いきいき教育地域人材活用推進事業

小学部：6月「腹話術の鑑賞」 講師 矢崎 育子 氏
 中学部：7月「心身のリラクゼーション」 講師 土橋 恵 氏
 全 校：1月「和太鼓及び篠笛鑑賞」 講師 守山 芳憲 氏

○ヴァンフォーレ甲府サッカー教室（特別活動 体育的行事）

11月：小学部3校時 中学部4校時

○学部集会

各学部学期2回（学期初め、学期末）：学期の振り返りやレクリエーションなどを行う。

○小学部

- ・水泳指導 7月 2日（火）～9月13日（金） 簡易プールでの指導
- ・林間学校（5年） 10月 4日（金） 愛宕山こどもの国
- ・修学旅行（6年） 11月15日（金） リニア見学センター、山梨ジュエリーミュージアム

○中学部

- ・期末試験 学期末（年間3回）
- ・林間学校（1、2年） 9月27日（金） 考古博物館、風土記の丘研修センター
- ・修学旅行（3年） 7月10日（木）～11日（金） 静岡方面
- ・部活動 月1～2回程度 「写真部」「日本文化部」「科学部」

③在籍児童生徒及び学級数（各月1日現在）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学部	在籍者	5	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6	6
	学級数	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5
中学部	在籍者	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	学級数	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

- ・令和6年度最終在籍者数（学級数） 小学部6名（5学級）
 中学部5名（3学級） 計11名（8学級）